

エコアクション21 環境活動レポート

第71期

活動期間 令和元年10月1日～令和2年9月30日



発行年月日:令和2年12月12日

小西建設工業株式会社

目 次

	環境方針	P1
1	事業活動の内容	P2
2	7 1 期実績	P3,4
3	中長期環境目標	P5,6
4	7 2 期環境活動計画	P7
5	7 1 期の環境活動計画の取組結果と評価	P8
6	次年度の取組内容	P9
7	環境関連法規への違反、訴訟等の有無	P9
8	代表者による評価と見直し	P9

環境方針

I. 基本理念

小西建設工業株式会社は、土木工事・舗装工事・水道施設工事を通じて地球環境問題を考え、二酸化炭素の削減、電気の省エネ化やグリーン購入等の環境負荷の低減に積極的に取り組む事で、地域社会へ貢献すると共に環境保全に取り組み、環境経営の継続的改善を実施します。

II. 行動指針

事業活動の中に環境経営システムを導入し、環境負荷の低減を推進していきます。

取組事項

- 1 (1)電気・ガソリン・軽油の使用量を減らして、二酸化炭素の排出量を削減します。
(2)産業廃棄物の発生抑制・削減・再利用を推進します。
(3)事業活動の中でグリーン購入を推進します。
(4)各現場では環境に配慮した施工を行います。
- 2 事業活動に関連する環境関連法規を遵守します。
- 3 環境への理解を全社員に周知して、環境意識の向上を目指します。
- 4 県土整備事務所及び北九州市との協定により、風水災害時の緊急事態に対応します。

制定日 平成23年9月30日

改定日 令和2年12月5日

小西建設工業株式会社

代表取締役 小西 孝二

1. 事業活動の内容

1 事業所名 小西建設工業株式会社

2 代表者 代表取締役 小西 孝二

3 住所 本社 北九州市八幡西区折尾三丁目4番15号
 電話番号 093-602-0122
 Fax番号 093-601-0605
 E-mail kouzibu@konishi-jp.com
 岡垣支店 遠賀郡岡垣町大字海老津1047
 遠賀支店 遠賀郡遠賀町遠賀川二丁目1812-7
 資材倉庫 遠賀郡岡垣町大字上畑笠松

4 環境管理責任者 小西 浩介

5 連絡担当者名 小西 浩介

6 事業内容	土木工事業 とび・土工工事業 舗装工事業 水道施設工事業 石工事業 解体工事業	福岡県知事許可	(特-2)第63439	令和3年1月13日
	鋼構造物工事業		(特-2)第63439	令和2年8月26日

7 営業年数 71年(昭和24年10月19日設立)

8 資本金 3000万円

9 産業廃棄物収集運搬業許可 許可証を取得しているが、業として営んでいない。(自社の運搬分のみ)

10 事業規模	活動規模	単位	69期	70期	71期
	売上高	百万円	521	574	525
	従業員	人	20	20	21
	床面積	m ²	165.69	165.69	165.69
	倉庫床面積	m ²	112.91	112.91	112.91
	資材置場面積	m ²	562.09	562.09	562.09

11 当社の事業年度 10月1日～翌年9月30日

12 認証・登録範囲 全組織・全活動

2. 第71期運用実績

作成者:環境管理責任者
作成日:令和2年12月5日

第71期運用実績(事務所)

環境目標			単位	平成30年10月～ 令和元年9月(70期)	令和元年10月～ 令和2年9月(71期)	71期	
				(基準年度)	目標	実績	
1		二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	19,221.6	19,029.4 -1.0%	18,795.5 98.8%	達成
	1-1	電気使用量の削減	kWh	16,163.0	16,001.4 -1.0%	14,718.0 92.0%	達成
	1-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	4,180.5	4,138.7 -1.0%	4,579.3 110.6%	未達成
	1-3	LPG使用量の削減	kg	25.6	25.3 -1.0%	25.3 99.6%	達成
2		廃棄物の削減	kg	496.1	491.1 -1.0%	542.7 110.5%	未達成
3		グリーン購入	品目	37品目	38品目以上	37品目	未達成

1. 購入電力の排出係数は、九州電力=0.462(kg-CO₂-kWh)とシン・エナジー=0.592(kg-CO₂-kWh)で計算した。
(平成30年度環境省・経済産業省公表参照)
2. 基準年は、70期(平成30年10月～令和元年9月)とした。
3. 運用期間は、令和元年10月から令和2年9月である。
4. 水道使用量の削減についてはメーターがついてない為行動目標のみとする。
5. 化学物質は使用しない。

第71期運用実績(建設現場)

環境目標		単位	平成30年10月～ 令和元年9月(70期)	令和元年10月～ 令和2年9月(71期)	71期	
			(基準年度)	目標	実績	
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	108,291.0	107,208.1 -1.0%	104,301.1 97.3%	達成
	1-1 電気使用量の削減	kWh	16,412.0	16,247.9 -1.0%	16,630.0 102.4%	未達成
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	9,479.5	9,384.7 -1.0%	9,966.8 106.2%	未達成
	1-3 軽油使用量の削減	ℓ	28,891.9	28,603.0 -1.0%	28,408.6 99.3%	達成
	1-4 灯油使用量	ℓ	874.5	865.8 -1.0%	80.0 9.2%	達成
2	建設副資材のリサイクル率	%	コンクリート塊100%、アスファルト・コンクリート塊100%			
3	グリーン購入	現場	毎現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を購入する。			
4	建設騒音・振動の発生に伴う苦情	現場	毎現場、建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情をゼロにする。			
5	水使用量の削減	現場	各現場、水の使用量削減を心がける。			
6	地域貢献活動	現場	各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。			
7	手戻しをなくす	現場	各現場、手戻しをなくし円滑に工事を進める。			

1. 購入電力の排出係数は、0.462(kg-CO₂-kWh)で計算した。(平成30年度環境省・経済産業省公表参照)
2. 基準年は、70期(平成30年10月～令和元年9月)とした。
3. グリーン購入は、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)とする。
4. 地域貢献活動は、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。
5. 水道使用量の削減は、現場毎に水の使用用途が違うので全てを把握する事ができない為行動目標のみとする。
6. 化学物質は使用しない。

3. 中期環境目標

作成者:環境管理責任者
作成日:令和2年12月5日

中期環境目標(事務所)

環境目標		単位	平成30年10月～ 令和元年9月(70期) (基準年度)	71期 目標	72期 目標	73期 目標
1	二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	19,221.6	18,933.3 -1.0%	18,933.3 -1.5%	18,837.2 -2.0%
	1-1 電気使用量の削減	kWh	16,163.0	15,920.6 -1.0%	15,920.6 -1.5%	15,839.7 -2.0%
	1-2 ガソリン使用量の削減	ℓ	4,180.5	4,117.8 -1.0%	4,117.8 -1.5%	4,096.9 -2.0%
	1-3 LPG使用量の削減	kg	25.6	25.2 -1.0%	25.2 -1.5%	25.1 -2.0%
2	廃棄物の削減	kg	496.1	488.7 -1.0%	488.7 -1.5%	486.2 -2.0%
3	グリーン購入	品目	37品目	38品目以上	39品目以上	40品目以上
4	水使用量の削減	事務所	水の使用量削減を心がける。			

1. 購入電力の排出係数は、九州電力=0.462(kg-CO₂-kWh)とシン・エナジー=0.592(kg-CO₂-kWh)で計算した。
(平成30年度環境省・経済産業省公表参照)
2. 基準年は、70期(平成30年10月～令和元年9月)とした。
3. 運用期間は、令和元年10月から令和2年9月である。
4. 水道使用量の削減についてはメーターがついてない為行動目標のみとする。
5. 化学物質は使用しない。

中期環境目標(建設現場)

環境目標		単位	平成30年10月～ 令和元年9月(70期)	71期	72期	73期	
			(基準年度)	目標	目標	目標	
1		二酸化炭素総排出量の削減	kg-CO ₂	108,291.0	107,208.1 -1.0%	106,666.6 -1.5%	106,125.2 -2.0%
	1-1	電気使用量の削減	kWh	16,412.0	16,247.9 -1.0%	16,165.8 -1.5%	16,083.8 -2.0%
	1-2	ガソリン使用量の削減	ℓ	9,479.5	9,384.7 -1.0%	9,337.3 -1.5%	9,289.9 -2.0%
	1-3	軽油使用量の削減	ℓ	28,891.9	28,603.0 -1.0%	28,458.5 -1.5%	28,314.1 -2.0%
	1-4	灯油使用量	ℓ	874.5	865.8 -1.0%	861.4 -1.5%	857.0 -2.0%
2		建設副資材のリサイクル率	%	コンクリート塊100%、アスファルト・コンクリート塊100%			
3		グリーン購入	現場	毎現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を購入する。			
4		建設騒音・振動の発生に伴う苦情	現場	毎現場、建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情をゼロにする。			
5		水使用量の削減	現場	各現場、水の使用量削減を心がける。			
6		地域貢献活動	現場	各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。			
7		手戻しをなくす	現場	各現場、手戻しをなくし円滑に工事を進める。			

1. 購入電力の排出係数は、0.462(kg-CO₂-kWh)で計算した。(平成30年度環境省・経済産業省公表参照)
2. 基準年は、70期(平成30年10月～令和元年9月)とした。
3. グリーン購入は、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)とする。
4. 地域貢献活動は、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施する。
5. 水道使用量の削減は、現場毎に水の使用用途が違うので全てを把握する事ができない為行動目標のみとする。
6. 化学物質は使用しない。

4. 72期環境活動計画

事務所

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 1) 電気使用量の削減
 - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。(夏28度・冬24度)
 - ② 昼休みの消灯
 - ③ 残業時間の不要な照明の消灯
 - ④ 長時間席を離れるとき、パソコンの電源OFF
 - 2) ガソリン使用率の削減
 - ① エコドライブの励行
 - ② アイドリングストップの励行
 - 3) LPGの使用量削減
 - ① 給湯器の効率使用
- (2) 廃棄物総排出量の削減
 - 1) 紙使用量の削減、一般廃棄物の削減
 - ① 裏紙の使用
 - ② 一般廃棄物は、分別ルールに従って実施する。
 - ③ 分別したものは、適切に処理する。
- (3) グリーン購入の推進
 - 1) エコ商品の購入
 - ① 事務用品の購入(39品目以上)
- (4) 水使用量の削減
 - 1) 事務所での水の使用量を削減する
 - ① 水を出し放しにしない
 - ② 節水に努める

建設現場

- (1) 二酸化炭素排出量の削減
 - 1) 電気使用量の削減
 - ① エアコンの設定温度を決め、実行する。(夏28度・冬24度)
 - ② 不要な照明の消灯
 - 2) 灯油使用量の削減
 - ① 不要な暖房の節約
 - 3) 軽油使用量の削減
 - ① 重機の燃費向上(アイドリングストップ)
 - ② 重機・車両の適性空気圧の整備
- (2) 廃棄物の削減(建設副資材のリサイクル率)
 - 1) リサイクル率の向上
 - ① 分別の徹底
 - ② 再利用・再生利用の推進
- (3) グリーン購入
 - 1) 各現場、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を調達する。
 - ① 資材(高炉セメント等)
 - ② 建設機械(排ガス規制車等)
- (4) 建設騒音・振動の発生に伴う苦情
 - 1) 建設騒音、振動の発生を低減し、苦情の発生をなくす。
 - ① 低騒音型建設機材の検討・採用
 - ② 作業工程の工夫等影響の最小限化
- (5) 水使用量の削減
 - 1) 現場での水の使用量を削減する
 - ① 水を出し放しにしない
 - ② 節水に努める
- (6) 地域貢献活動
 - 1) 地域との協調
 - ① 建設現場周辺の清掃
 - ② 河川清掃、海岸清掃等
- (7) 手戻しをなくす
 - ① 各現場、手戻しをなくし円滑に工事を進める。

5. 71期の環境活動計画の取組結果と評価

事務所

(1) 二酸化炭素排出量の削減

事務所では、二酸化炭素排出量は目標の排出量より1.2%減となった。
その理由は、事務所の電灯を全てLEDに変えた事で電気使用量減った事が考えられる。

(2) 廃棄物総排出量の削減

事務所での廃棄物の排出量は、目標の排出量より10.5%増だった。
その理由は、事務所での仕事でのコピー用紙の使用量が増えた事と
不燃物が増加した為だと考えられる。

(3) グリーン購入

1) 事務用品の購入
コピー用紙、ファイル、文房具等を37品目購入した。引き続き購入していく。

建設現場

(1) 二酸化炭素排出量の削減

現場では、二酸化炭素排出量は2.7%減だった。
これは、軽油の使用量が減少した為と考えられる。
それは現場があまり無い月があり、重機の稼働が減少した為と考えられる。

(2) 廃棄物の削減(建設副資材のリサイクル率)

1) 発生抑制の為、設計図書の照査及び打合せの徹底をする。
2) リサイクル率の向上
コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊ともに100%リサイクルであった。

(3) グリーン購入

1) 高炉セメントを使用した。
2) 排ガス対策車を使用した。

(4) 建設騒音・振動の発生に伴う苦情

1) 建設騒音、振動の発生を低減し、苦情が生じないようにした。
苦情の発生はなかった。
今後とも、隣接住民との工事概要説明等を行い理解を密にしていく。

(5) 水使用量の削減

(6) 地域貢献活動

地域ボランティア、河川、海岸、保安林美化活動等へ参加した。
各現場、工期内に月1回現場周辺の清掃活動を実施した。

(7) 手戻しをなくす

今期の手戻しはなかった。来期も手戻しのないように現場管理に努める。

6. 次年度の取組内容

(2) 第72期の取組内容

1) 事務所

- ①CO2の削減は、基準年(第70期)に対して1.5%の削減とします。
- ②廃棄物の削減は、第70期をもとに1.5%の削減とします。
- ③グリーン購入は、事務用品39品目以上購入します。
- ④水を出し放しにせず、節水に努めます。

2) 建設現場

- ①CO2の削減は、基準年(70期)に対して1.5%の削減とします。
- ②廃棄物の削減は、建設副産物のリサイクル率コンクリート塊100%、アスファルトコンクリート100%とします。
- ③グリーン購入では、公共事業における特定調達品目(主要資材、建設機械等)を調達します。
- ④建設騒音・振動の発生を防止するとともに、これに関する苦情の発生をゼロにするように努めます。
- ⑤水を出し放しにせず、節水に努めます。
- ⑥地域貢献活動として、各現場、工期内に原則月1回現場周辺の清掃活動を実施します。
- ⑦手戻しをなくし円滑に工事を進めます。

7. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

環境関連法規の遵守状況をチェックの結果、違反はありませんでした。
尚、関係当局より違反の指摘、利害関係者からの訴訟等も過去5年間ありませんでした。

8. 代表者による評価と見直し

(1) 評価

- 1) 事務所の二酸化炭素総排出量削減は達成となりました。このことは電気使用量が減った為だと考えられます。
これは事務所の電気をLEDに変えた為だと思います。
- 2) 現場の二酸化炭素総排出量削減は達成となりました。このことは軽油使用量が減った為だと考えられます。
これは重機の不必要なアイドリングをしない等エコ運転がされたからだと思います。
環境経営システム、環境への取組は適切に実施されていると思います。

(2) 見直し

- 1) 工程会議が新型コロナウイルスの為出来ないので、周知方法を確立すること。
- 2) CO2の削減・廃棄物の削減・グリーン購入の推進は、継続して実施します。
- 3) 現場では、事故をなくし、苦情をなくし、手もどりをなくすように指導します。
- 4) 事務所、現場ともに未達成部所の意識の高揚につとめて目標達成につとめる。